

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 31 日 (2008.1.31)

【公開番号】特開 2006-158600 (P2006-158600A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-024
 【出願番号】特願 2004-353508 (P2004-353508)
 【国際特許分類】

A 4 3 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 4 3 B 17/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 3】

前記形状記憶樹脂材の密度が $40 \text{ kg} / \text{m}^3 \sim 90 \text{ kg} / \text{m}^3$ の範囲に有る事を特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の靴中敷き。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0011
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0011】

(3) 第 3 の手段は、第 1 または第 2 の手段に係る靴中敷きにおいて、前記形状記憶樹脂材の密度が $40 \text{ kg} / \text{m}^3 \sim 90 \text{ kg} / \text{m}^3$ の範囲に有る事を特徴とするものである。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0027
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0027】

また、発泡体 3 の形状記憶樹脂材の密度は $40 \text{ kg} / \text{m}^3 \sim 90 \text{ kg} / \text{m}^3$ の範囲、硬さは雰囲気温度 55 において 25% 歪ませた時、 $5 \text{ KPa} \sim 20 \text{ KPa}$ の範囲のものが好ましい。また、発泡体 3 の形状記憶樹脂材の歪みが、雰囲気温度 55 において荷重 $0.017 \text{ kg} / \text{cm}^2$ を与えた時、30% ~ 60% の範囲に、損失係数 (Tan δ) がガラス転移領域において 0.6 ~ 1.0 の範囲に有るものが好ましい。